

お詫びと訂正

本誌736号〔2020年2月号〕掲載の論文について、執筆者から訂正の連絡と正誤表が届きましたので掲載します。読者の皆様には謹んでお詫びします。

2020年2月27日 『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

736号〔2020年2月号〕

【特集】東アジア福祉レジームとダブルケア（1）東アジア比較と計量分析

上村一樹・中村亮介「ダブルケア経験者の就業状態および負担感についての分析」

正誤表

	誤	正
33 ページ 脚注(2)	社会生活基礎調査	社会生活基本調査
35～40 ページ 表 1-1, 1-2	年収（万円）	年収（万円）（注 2） （注 2）次の各選択肢（100万円未満, 100-200万円未満, 200-400万円未満, 400-600万円未満, 600-800万円未満, 800-1000万円未満, 1000-2000万円未満, 2000 万円以上）を（50万円, 150 万円, 300 万円, 500 万円, 700 万円, 900 万円, 1500万円, 2000万円）に変換した。
40 ページ 表 2	性別	女性ダミー
	所得	年収（万円）
	夫	夫（就業形態ダミー）
	妻	妻（就業形態ダミー）
52 ページ 14 行目	2017 年調査のみプラスである	2017 年調査のみマイナスである
52 ページ 16 行目	厳しめに予想する	楽観的に予想する
58 ページ 3 行目	(4) 子どもに腹が立つ	(4) を削除
58 ページ 4 行目	(4) 子どもに腹が立つ, の時	(4) を削除
60 ページ 17～18 行目	この結果は逆の因果関係が反映されたものだと考えられる。	この結果は逆の因果関係を示唆するものだと考えられる。
61 ページ 参考文献	黒田祥子（2014）「中間の年齢層の働き方——労働時間と会議時間の動向を中心に」『日本労働研究雑誌』No.653, pp.59-74。	黒田祥子（2014）「中間の年齢層の働き方——労働時間と介護時間の動向を中心に」『日本労働研究雑誌』No.653, pp.59-74。